

びがかいのトビ のラ



【特集】市民インタビュー

暖かい心をお弁当にこめて

39年間の無事故は誇りです

食事サービス千種

P2

● 審議した主な議案

市長提出議案 P4

委員会提出議案 P6

議決結果一覧 P6

● 市政について問う

《一般質問》 P8

● 議会活動報告 P17

No.126

令和元年（2019年）

8月1日発行

（通巻 235号）

暖

かい心をお弁当にこめて

39年間の無事故は誇りです

食事サービス千種 ちぐさ

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思えます。今回は厚生委員会が担当しました。

【表紙の写真】
毎週木曜日に福祉センターでお弁当を作っている千種の皆さん
(令和元年6月27日撮影)



食事サービス千種は、ひとり暮らしの虚弱な高齢者などに、お弁当を手作りして配達しているボランティアグループです。お弁当と一緒にメッセージカードを添えたり、配達時に声をかけたりと、心のこもった活動をされています。
(6月18日)

食事サービス千種の歴史は

濱本 栄子さん(会長)



昭和56年4月に、老人給食事業が開始され、月2回、自宅の台所で調理し、無料で食事のサービスを行っていました。また、老人ホームで作ったお弁当を民生委員が届ける事業も始まりました。昭和60年からは、五ノ神会館・三矢会館・コミュニティセンター・個人

宅の4か所に分かれて、手作り給食を始め、平成3年に給食ボランティアグループが統合し、『食事サービス千種』が発足しました。

月4回のお弁当配達と老人給食会(ふれあい食事会)を始め、当時の受給者数は37人でした。千種の活動は評価され、表彰を受けたこともありました。平成11年からは、配食サービスが社会福祉協議会の事業になり、1食400円となりました。平成20年からは、市の委託事業「ほほえみ食事会」も実施してきました。

具体的な活動・会員数は

濱本 毎週木曜日、福祉センター調理室で活動しています。会員は現在30人です。作り手24人、配達6人で、毎週1回16食を届けています。献立は、栄養士の指導を受けて作ります。季節感を持たせ、味付けや柔らかさに気を配り、メッセージカードも添えています。

活動を始めたきっかけは

中里 昌子さん



初代会長が民生委員としてお弁当配りをしていて、お手伝いをしてあげたい。地域で6、7人のグループになり、

担当する方が9人ぐらいいました。仲間もたくさんいて、待っていてくれる方が喜んでくれるのが嬉しい。これまで長く続いてこられたのは、「性分」ですね。(笑)

鳥山 博子さん(書記)



平成11年に福祉センターができた時、広報で募集があり応募しました。気が合うお友達ができ、料理も覚えられるし、何より楽しかったので長く続いてきました。

須田 勝子さん(会計)



仕事を辞めた後、何をしようかと思っていた時に目

最初は配達担当でしたが、体力面から作り手になりました。良い仲間ができて、旅行に行ったりして楽しかったです。無償で活動しているグループは、東京では羽村しかないと言われてきました。

責任のあるボランティア

濱本 配達の際は、手渡しすることで安否確認をします。不在の時は、家の中には入れませんが、持ち帰り、社会福祉協議会に連絡します。責任も義務もあり、とても神経を使います。衛生面では、西多摩保健所の講師から講習を受け、月1回の細菌検査を受けています。

「お弁当」から広がった食の活動

中里 これまで日本の食文化紹介のため、横田基地内の小学校で

「おにぎり」の作り方を教えたこともあります。

濱本 武蔵野小学校では「羽村学郷土料理を学ぼう」という課題で、飯もちなどの郷土料理を作りました。子どもたちの勉強のお手伝いできていると感じました。また、イベントに参加し、ゆで饅頭を販売したり、多摩国体では、きのこ汁を作りましたね。

39年間の活動で無事故は誇り

濱本 10年前から会員を募集してきましたが、ボランティアであり収入に繋がらないため、なかなか会員が集まらず、今年度で千種の活動は終了する予定です。介護保険制度などが充実していない時代に活動を開始しましたが、制度が充実してきた、役割が終わったの

かなと受け止めています。人との出会いに恵まれました。39年間で、一度も食中毒などの事故がなかったことは誇りです。活動を引き継ぐ人たちが出てきて、もう一度、幕が開くことを期待したいです。

中里 活動で得たものは、羽村中に顔見知りの方がいることです。今度は自分たちがサービスを受けられる時かと思いましたが、受けられないのは残念です。

須田 利用者に感謝されたので満足です。楽しく解散会をしたいです。体調を崩した人もいますが声をかけたいです。

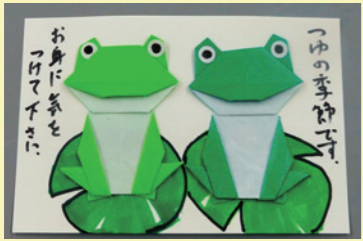
鳥山 一生懸命やってきました。自分が作った弁当だけど「食べた！美味しそう！」と思っていました。満足です。



▲お弁当を詰める作業
衛生面には気を使います



▲6月27日の献立はカレー・サラダ・卵焼き



▲手作りのメッセージカードも添えます



▲配達を担当へお弁当を託します

食事サービス千種

会員数 30人
年会費 500円
連絡先 042-554-0304
(社会福祉協議会)

インタビューを終えて

ボランティアでお弁当を作り、利用者に届けてきた39年間の活動は、高齢者配食の先駆者としての活動だったと感じました。「千種とは形は違いますが、新たな活動形態を模索したい」との未来志向のお声も聞かれました。

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

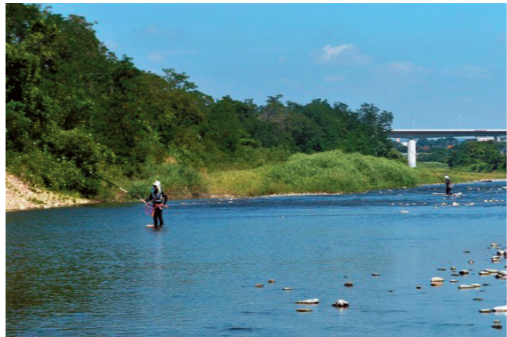
議案審議

■6月定例会に市長から提出された議案は、条例に関する議案1件、補正予算案6件、その他の議案1件の、合わせて8件すべてを可決しました。

■委員会提出議案は、意見書案1件を可決しました。

■請願1件は、付託した委員会で継続審査となりました。陳情は1件が採択、1件が不採択となりました。

主な議案の概要は次のとおりです。



市長提出議案

■低所得者に対する介護保険料の軽減を強化

羽村市介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部を改正する政令の施行に伴い、低所得者の第1号保険料の軽減賦課を拡大して行うため、条例の一部を改正するものです。

【施行日】 公布の日

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 軽減措置による影響額は。

A 軽減額は1281万2640円を見込んでいます。

Q 国が示す基準を上限として市が軽減幅を決定できるが、市の軽減幅は。

A 第1・第3段階は、国が示す最大限の幅。第2段階はもとも市独自に軽減していたため国基準より低い軽減幅である。

道路機能を有していない市道路線を廃止

市道路線の廃止について

一般交通の用に供されておらず、現地においても道路機能を有していない市道路線を、隣接する土地所有者に払い下げを行うため、廃止するものです。

【主な内容】 羽村市大字五ノ神字武蔵野の市道第2133号線及び市道第2134号線

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 建物と建物の間の細い土地だが、市道として残った経緯は。

A 地方分権に伴い国から譲与された土地である。

Q 他に払い下げ可能な路線は何かあるか。

A 49か所程度ある。

Q 積極的に払い下げしていくべきではないか。今後の見通しは。

A 積極的に進めていく。現在3路線が交渉中である。

一般会計補正予算

羽村市一般会計補正予算(第2号)

一般会計歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ3120万円を増額して補正後の予算額を歳入歳出それぞれ224億60万円とするものです。

【主な内容】

●歳入

●**国庫支出金**：介護保険料低所得者軽減対策に係る負担金などを計上

●**都支支出金**：イルミネーション事業及びスクラッチ事業に係る商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金を増額。また、「国際的なスポーツ大会を契機とした体力向上事業」の指定地区の決定を受けたこと、「文化プログラム・学校連携事業」の対象校の指定を受けたことにより都委託金を計上

●**財産収入**：羽村市大字五ノ神字武蔵野の市道の払い下げに伴う市有地処分金を計上

●**繰入金**：財政調整基金繰入金を減額

●歳出

人事異動等に伴う、職員人件費の増減、人件費に係る特別会計へ

の繰出金の増減

●**総務費**：消費税率の引き上げに伴い、税率引き上げ分を使用料等に転嫁することなどを諮問するため、使用料等審議会に要する経費などを計上

●**民生費**：消費税率の引き上げに伴う介護保険料の低所得者軽減対策に係る繰出金や、幼児教育・保育の無償化に伴う電算システムの改修費を計上

●**衛生費**：風しんの抗体検査や予防接種に係る経費を計上

●**商工費**：イルミネーション事業及びスクラッチ事業が、東京都の商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金の補助対象となったことによる、予算の組替え

●**消防費**：防災行政無線移動系無線局の法定点検を行うため、検査経費を計上

●**教育費**：東京都の補助制度を活用して、羽村第二中学校の体育館にリース契約による空調設備を設置するため、空調設備機器使用料を計上

【議決結果】 原案可決

請願

■水上公園の流れるプールの稼働継続に関する請願書

【要旨】

市は、水上公園の流れるプールを休止することを決定したが、子どもたちが楽しみにしているプールであり、財政を工夫するなどして稼働を継続してほしい。

【審査状況】 経済委員会に付託され、次期定例会まで継続審査することとなりました。

陳情

■辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

【要旨】

1. 辺野古新基地建設工事を直ちに中止し、普天間基地を運用停止にすること

2. 米軍基地が必要か否か、普天間基地の代替施設が日本国内に必要か否か国民的議論を行うこと

3. 国民的議論において普天間基

地の代替施設が国内に必要なという結論になるのなら、民主主義及び憲法の規定に基づき公正に解決するべき

【議決結果】 不採択

■「交通運賃割引制度」を精神障がい者へも適用することを求める意見書を国会及び関係行政へ提出を求める陳情書

【要旨】

JRをはじめとする「交通運賃割引制度」は、いまだ精神障がい者には適用されていない。精神障がい者へも適用されれば、余暇生活を自分らしく送れるようになり、様々な体験を積み重ねることで自信や自立につながる。市議会から意見書を衆議院・参議院、関係行政へ提出することを求める。

【議決結果】 採択

※内容は要約しています。詳細はインターネット録画中継(6月17日・28日分)または会議録をご覧ください。

◆インターネットで会議録をご覧になる場合は、「羽村市議会」↓「会議録の検索と閲覧」↓「令和元年第3回定例会」

■市長提出議案の議決結果

<全会一致となった議案>

議案	議決結果
羽村市介護保険条例の一部を改正する条例 P 4 参照	原案可決
令和元年度羽村市一般会計補正予算（第2号） P 5 参照	
令和元年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ 221 万 6 千円を減額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ 58 億 8,168 万 4 千円とする。	
令和元年度羽村市介護保険事業会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ 337 万 7 千円を減額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ 37 億 3,162 万 3 千円とする。	
令和元年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ 49 万 2 千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ 9 億 3,199 万 2 千円とする。	
令和元年度羽村市下水道事業会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ 65 万 4 千円を減額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ 12 億 7,914 万 6 千円とする。	
令和元年度羽村市水道事業会計補正予算（第1号） 【収益的収入及び支出】 (支出) 548 万 7 千円を増額し、補正後の予算額を 9 億 5,869 万 4 千円とする。 【資本的収入及び支出】 (支出) 2 万 7 千円を減額し、補正後の予算額を 6 億 8,518 万 4 千円とする。 【議会の議決を経なければ流用することのできない経費】 (職員給与費) 546 万円を増額し、補正後の予算額を 1 億 548 万 1 千円とする。	
市道路線の廃止について P 4 参照	

「障害者基本法」は、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指す、障がい者の自立及び社会参加の支援等に向けた基本的理念を定めている。

また、共生社会の実現に向け、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が平成28年4月1日に施行された。

障がい者の自立や社会参加の促進のためには、公共交通機関などの移動手段の確保が必要不可欠である。

このため、鉄道、バスをはじめとする公共交通機関においては、運賃割引制度を設け、障がい者の経済的負担の軽減を図っている。

しかし、その多くは、身体障がい者及び知的障がい者を適用対象とするもので、その一方、精神障がい者を対象とするものは少なく、

精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引の適用を求める意見書

可決された意見書を、衆議院・参議院両議長、関係大臣に提出しました。

委員会提出議案

可決された意見書を、衆議院・参議院両議長、関係大臣に提出しました。

格差が生じている。

羽村市議会は、平成28年12月21日付けで国会及び政府に対し、公共交通機関の運賃割引制度について、精神障がい者も身体障がい者及び知的障がい者と同様に、適用対象とすることを交通事業者に働きかけることなどについて意見書を提出しているが、未だ制度の改善が不十分である。よって、再度早急に必要な措置を講じることを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年6月28日

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、
【議決結果】 原案可決

■委員会提出議案の議決結果

委員会提出議案	議決結果
精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引の適用を求める意見書 上記参照	原案可決

■陳情の審議結果

陳情	審査した委員会	会派名（数字は人数）								本会議での議決結果
		令	公	新	共	ネ	世	力	風	
辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	総務	×	×	×	○	○	○	×	×	不採択
「交通運賃割引制度」を精神障がい者へも適用することを求める意見書を国会及び関係行政へ提出を求める陳情書	厚生	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

■各会派の賛否 ■ 議案 / ○…賛成 ×…反対

凡例 ■ 会派名 ■ 令…令和かがやき 公…公明党 新…新政会 共…日本共産党
 請願・陳情 / ○…採択 ×…不採択
 ネ…市民ネットワーク 世…世論 力…つながる力 風…新しい風

会派名簿

令和かがやき おおつか 大塚あかね はせひら 馳平 耕三 はまなか 濱中 俊男 みずの 水野 義裕	公明党 なかじま 中嶋 勝 とみなが 富永 訓正 にしかわ 西川美佐保 いし 石居 尚郎	新政会 あきやま 秋山 義徳 いんなみ 印南 修太 とみまつ 富松 崇 はしもと 橋本 弘山	日本共産党 はまなか 浜中 順 すずき 鈴木 拓也	市民ネットワーク もんま 門間 淑子	世論 やまざき 山崎 陽一	つながる力 たかだ 高田 和登	新しい風 かじ 梶 正明
--	---	---	--	------------------------------	-------------------------	---------------------------	------------------------

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

般質問

一般質問とは、市が実施している施策全般についての議員の質問です。
 第3回定例会では、
 6月10日、13日、14日の3日間にわたり
 17人の議員が、一般質問を行いました。
 その要旨をお伝えします。
 ※原稿は、議員自身が要約し作成しています。



《Q》市民の意見を交えた協議の場の設置を

《A》必要に応じて設置を検討

中嶋 勝 議員（公明党）



縮充への取り組みを

市民とともに

40事業をスリム化したが、廃止や縮小だけでなく、代替案等、縮充の視点も必要。
質問 抽出した事業の理由や詳細な情報も公表し、市民と共有することが必要では。
市長 重要なことだと認識している。

質問 公共事業及び施設の今後のあり方をどう考えているか。
市長 水上公園プールは休止し、利活用や再整備を検討。自然休暇村は来年度末までには、方向性を決定。動物公園は老朽化対策し、将来にわたり維持していく。市役所連絡所は、今年度末



今年度末で廃止となる市役所連絡所の一つ

で廃止の方向。

教育長 スイミングセンター

ーは必要な施設であり、長寿命化していく。
質問 市民を交えた協議の場を設け、意見を聞いて進めることが重要では。
市長 必要に応じて検討する。児童生徒の

読書活動推進について

質問 学校図書館総合管理システムが小学校7校に導入された。その効果は。
教育長 蔵書や人気本が容易に検索でき、児童にとって良い環境となっている。
質問 中学校3校の導入は5年間も延期されているが、
教育長 導入に向けて取り組んでいく。

質問 全校の導入でどのような効果が期待できるか。
教育長 学校間での情報共有や、市図書館との連携を図ることで読書活動の推進が期待できる。

■その他の質問
 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会とともに文化振興を」



《Q》3・4・12号線の開通で混雑は解消するか

《A》混雑の解消や安全対策上大きな効果がある

石居 尚郎 議員（公明党）



道路の安全確保と対策を

質問 川崎・羽東地域の道路安全対策について、都市計画道路3・4・12号線の開通で混雑は解消されると考えているか。
市長 東京都が進めている羽村大橋拡幅事業と、当該都市計画道路は、瑞穂町から羽村市を通過し、あきる野市へ通じる広域幹線道路として整備される。これにより、川崎街道やその周辺の抜け道としての利用を減少させ、混雑の解消や安全対策上で大きな効果があると考えている。



羽村大橋から3・4・12号線へと繋がる東詰交差点

■その他の質問「SDGsを教育へ持続可能な開発のための教育を」



《Q》小作台5丁目広場を処分すべきではないと考えるが

《A》土地の活用方針が決まった段階で説明する

高田 和登 議員（つながる力）



行政のスリム化に向けた見直しについて

質問 小作台5丁目広場の売却と有料貸出する場合の効果額は。
市長 売却価格は約4億円。有償貸付額は年間で約850万円と試算している。

質問 市民活動団体や地元の高齢者クラブなどで活用されている市有地を処分すべきではないと考えるが、いかがか。
市長 市有地の土地の活用方針が決まった段階で、小作台5丁目広場管理運営委員会へ説明する。

質問 コミュニティセンター 休館日の見直しによる効果額は。
市長 休館日を月1回から



市民活動団体等に利用されている小作台5丁目広場

毎週月曜日に見直すことで、効果額は年間約203万円。
質問 市役所連絡所の廃止による効果額は。
市長 年間で約640万円。

質問 小作駅前駐車場の土地の活用方針は。
市長 駅前の活性化につながる検討を進めている。

質問 ドッグランの設置を検討すべき。
市長 現時点では、市が整備することは考えていない。

質問 市は災害時の動物救護体制を充実すべきと考えるが、いかがか。
市長 飼養動物の同行避難の体制整備を進め、総合防災訓練時に動物救護の視点を取り入れられるよう検討する。

質問 市民の中に都から委嘱された「動物愛護推進員」はいるか。
市長 現在、当該委員はいない。



青年・成人の

知的障がい者の余暇活動と居場所の充実を

質問 青年・成人の障がい者の余暇活動や居場所となる施設はあるのか。
市長 日中活動や就労後などに集い、自由に余暇の時間を過ごしたり、活動したりする支援サービスを提供する居場所や施設は、現在のところ市内にはなく近隣自治体においても、同様の状況。知的障害のある方の関係者からは、「就労後などの時間に、自由な余暇活動を支援する居場所が身近に必要である」との声もいただいている。市としてまず、関係者のニーズを把握し、どのような支援や対応が可能かについて、研究していく。

《Q》 運転免許自主返納者への支援の考えは？

《A》 公平性を鑑み、行わない

大塚 あかね 議員（令和かがやき）



西コースを走る「はむらん」

高齢者等を中心とした 市民の移動・外出支援 サービスを進めよう
平成29年第1回定例会でも質問した、高齢者等を中心とした移動や外出が困難な人への支援の検討は進んだのか。「はむらん」の運行改善はもちろん、新たな施策の展開も必要ではないか。
質問 運転免許を返納した方への支援として、タクシー、バスの乗車料金割引の検討は進んだのか。
市長 運転免許返納に関する助成を行う考えはない。
質問 「はむらん」西コースのルート見直しについて運営懇談会ではどのような議論がされているのか。

市長 主要公共施設に乗り換えなしで移動できるルートが必要という意見があり、現在のコースになっている。
質問 デマンド型交通運行の検討はどこまで進んだか。
市長 導入する考えはないが、調査研究に努める。
質問 介護予防・日常生活支援総合事業の移動支援サービスの実施は。
市長 実施主体の有無や実施方法等、研究していく。
質問 確立に向けた羽村市の状況
質問 採用方法は。
市長 原則として公募を行い、書類及び面接により選考し、決定する。
質問 再度の任用の空白期間はなくなるのか。
市長 人事評価が一定水準以上の場合、4回までは選考試験を免除し、上限を超えた場合でも公募による選考を経て採用は可能と考えている。



《Q》 新たなベンチ、屋根の設置への方向性、計画性は

《A》 休憩場所としても活用でき、順次設置を検討

富永 訓正 議員（公明党）



新たに設置されたはむらんバス停とベンチ

誰にでもやさしい 「はむらん」のバス停へ
質問 新たにベンチ、屋根の設置が可能なバス停は、どこに何か所あり、市の方向性、計画性はどうか。
市長 グリーントリム公園、スポーツセンター、羽村第一中学校、あさひ公園など計22か所ある。一般通行者の休憩場所としても活用できるよう、順次設置を検討。
市民の日常の気付きから、より安心安全な街へ
質問 市内の安心安全に協力している個人や団体へのサポートをどうしているか。
市長 関係物品の貸与、必要となる知識等の情報提供、情報交換を行っている。引

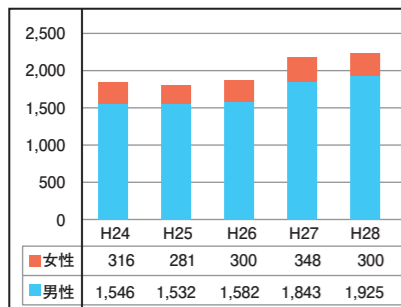
き続き活動を支援していく。
質問 市民からの情報収集にSNSの活用を。
市長 情報化の新たな進展に注視し、さらに研究が必要であると捉えている。
デジタル平和資料館(仮称)の開設で平和事業充実を
質問 市民等からの寄贈品や独自に収集した関連資料の内容と保存状況、課題への取組みは。
教育長 戦争に関する資料は約1000点。戦時中の生活、軍事関連、写真などデジタル化を進めている。
質問 資料のデジタル化をさらに進め、小規模からでも羽村市版「デジタル平和資料館(仮称)」を公式サイト上に開設しては。
市長 先進事例の情報収集・調査研究に努め、市の平和事業の充実へ効果的なものになるか検討する。



《Q》 薬物や危険ドラッグへの対策は？

《A》 小・中学校で薬物乱用防止の意識啓発を実行

梶 正明 議員（新しい風）



都内の薬物事犯の検挙件数（警視庁HP）

子どもたちの安全確保に向けての取り組み
質問 市内で薬物や危険ドラッグの使用に伴う犯罪は発生しているか。
市長 福生警察署によると、市内での薬物や危険ドラッグによる犯罪発生件数は、平成28年が1件、29年が3件、30年が0件で、いずれも、薬物不法所持によるものである。
質問 薬物への危険性の認識がないため、使用してしまつたとよく聞かすが、どのような啓発活動を行っているか。
市長 市では「健康フェア」に、薬物乱用防止コーナーを設置し啓発に努めている。

いる。その他、「社会を明るくする運動」で、リーフレットを配布し、保健センターや各小・中学校にポスターを掲示するなど、薬物使用根絶に向けた啓発に取り組んでいる。また、市内の各小・中学校で、東京羽村ライオンズクラブ、福生警察署、西多摩保健所等の協力により、安全教育の一環として、セーフティ教室等の中で、薬物乱用防止の意識啓発を行っている。
質問 福生警察署と児童虐待情報共有等に関する協定を締結したと聞かすが、どのような取り組みを実施しているのか。
市長 今まで以上に綿密な情報共有や連携を図り、子どもの健全な成長を守っていく。
■その他の質問 「高齢者への犯罪を防ぐ対策強化に向けて」



《Q》 男性トイレにもお子さんを載せる椅子の設置を

《A》 社会ニーズから配置は必要。設置の検討を進める

西川 美佐保 議員（公明党）



父親から見た子育て支援の充実について
男性の家事、育児参加は当たり前の時代となっている中、インフラなどが追いついていない現状がある。
質問 公共施設や、公園、駅などの男性トイレにも、オムツ替えシートやお子さんの椅子が必要では。
市長 市役所以外は男性トイレに配置がない現状。今後設置の検討を進める。
コミュニティバス「はむらん」及び民間デマンド型乗合タクシーについて
高齢者の車の操作ミスによる事故も報道され、免許証を返納したいが、買い物等不便でできないという声がある。
質問 はむらんの近年の利用者数は。
市長 平成29年度は、19万4千326人。30年度は20万9760人。
質問 市役所から羽村駅方面へ向かう4路線は全てゆとりぎ経由。1コースは市

役所通りを走らせては。
市長 環境の変化や状況に応じたコース等の見直しを検討する。
質問 「わたしの時刻表」のさらなるPRを。
市長 「わたしの時刻表」は、都市計画課に申し込み自分専用の時刻表を作成するもの。広報紙や産業祭などでPRに努める。
質問 はむらんを補完し、財政負担を伴わない民間デマンド乗合タクシーの試験的な導入を。
市長 民間主導の乗合型タクシーの普及状況など、調査研究に努める。
■その他の質問 「認知症対策」はむらオレンジカフェについて



岡山県玉野市のデマンドタクシー「シートク」